

## 第70回日本医学検査学会の開催にあたり



一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会  
代表理事 会長 宮島 喜文

本学会が、一般社団法人 福岡県臨床衛生検査技師会の担当で、メインテーマを「What to do in the future」、サブテーマを「臨床検査の深化と進化」と掲げ、第70回となる節目の学会が盛会に開催されますことをお慶び申し上げます。コロナ禍での開催となり、感染拡大防止、新しい生活様式に基づいた学会運営として、Web形式を軸として開催されます。

また、会員の皆様には、日頃から一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会（以下、日臨技と略す。）の活動につきましてご理解、ご協力を賜りこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、私たち臨床検査技師を取り巻く環境は大きく変わろうとしています。「医師の働き方改革に関するタスクシフト・シェアを進めるための検討会」に関する報告書が昨年まとめられ、臨床検査技師が現行制度下で実施可能な18行為、さらに法令改正が行われ実施可能な8行為が示されました。臨床検査技師の業務範囲は分析や測定行為のみでなく、検査室の枠を超えてチーム医療を担う医療人として成長していかなければなりません。

また、将来を見据えた臨床検査技師の卒前教育の見直しも、遺伝子検査など新たな学問の追加や大幅な臨地実習の充実などを盛り込んだ制度改革が示されました。

日臨技としては、このような動き対して、職能団体として法制度を整備すると共に、会員の教育研修に取り組んでまいります。

本学会のテーマでもある「臨床検査の深化と進化」について会員の一人一人が改めて熟考する機会となることを期待しております。

末筆ではありますが、本学会に参加された会員にとって有意義な学術集会であることを祈念するとともに、本学会の企画、運営にご尽力いただきました西浦明彦学会長を始め、一般社団法人 福岡県臨床衛生検査技師会の皆様に厚くお礼申し上げます。